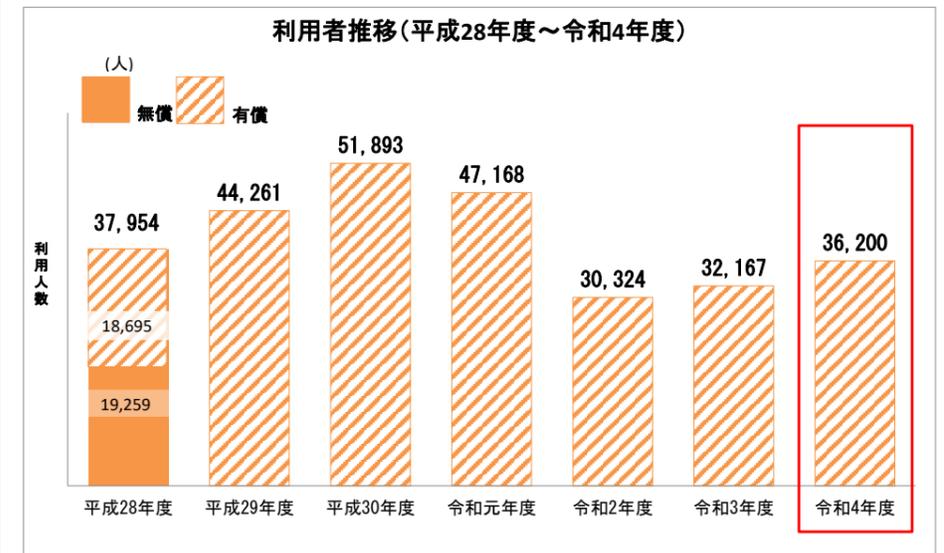


令和4年度取組事業

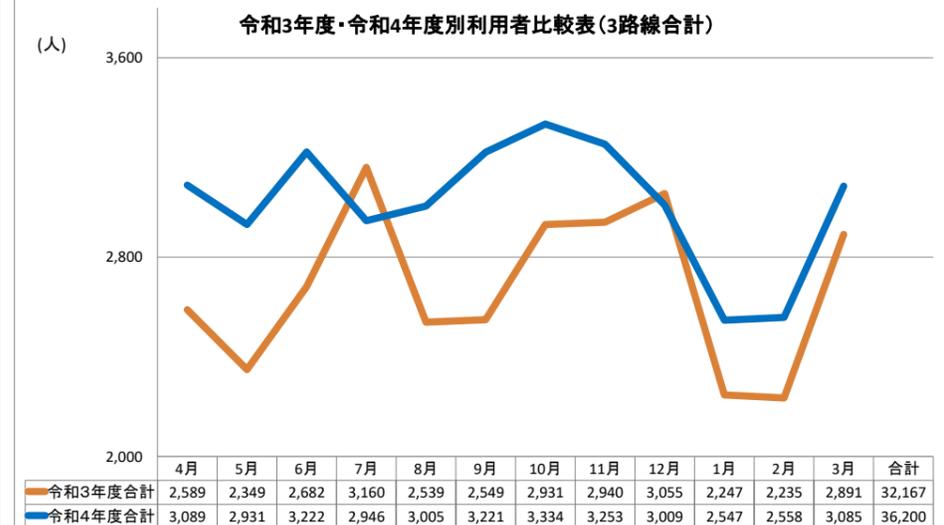
※例年実施している、広陵元気塾との政策間連携、「いのちを守るイベント」での周知活動については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施

①評価内容	②実施概要	③事業の今後の改善点・方針
<p>●広陵町地域公共交通利便増進計画（案）の策定 令和3年度に策定した地域公共交通のマスタープランである「広陵町地域公共交通計画」における事業の基本方針に基づき、確実な事業の実施、公共交通体系の維持・向上及び運行を行っていくため、アクションプランとして「広陵町地域公共交通利便増進計画(案)」を策定し、令和5年度中に計画策定を行い、運行再編を行う予定である。</p>	<p>【実施内容】 計画策定に向け以下の事業を実施した ・住民ワークショップを開催（3回） ・交通事業者へのヒアリング（3者） ・MaaSを活用した新モビリティ導入検討に係るサウンディングを実施（9者） ・既往計画（「広陵町地域公共交通計画」）の事業の洗い出し</p>	<p>広陵町公共交通計画で定めた目標値により進捗状況の把握を行う。</p>
<p>●住民ワークショップの開催 町民の公共交通を利用した移動における課題と市町村有償旅客運送による課題解決策を検討することを目的に、住民ワークショップを3回開催。ワークショップの結果は「広陵町地域公共交通利便増進計画（案）」及び令和5年度に運行再編する広陵元気号の運行方針の基礎情報として活用している。</p>	<p>【実施内容】 ・第1回（8/6 参加者12人）内容 ①市町村有償旅客運送事務局案に対する感想、意見等 ②日頃のライフスタイルにおける町内移動の実態と課題 ③市町村有償旅客運送の導入による課題解決とそこの条件等 ・第2回（8/27 参加者10人）内容 ①デマンド交通の先進事例についての感想、意見等 ②市町村有償旅客運送についてやったらよいと思うこと ③市町村有償旅客運送の実現化に向けた具体策や課題 ・第3回（9/17 参加者8人）内容 ①事務局案についての感想、実現化に向けた具体策や課題 ②新たな公共交通の利用に向けた認知度向上と利用促進に向けたアイデア等</p>	
<p>●交通事業者ヒアリングの実施 町内を運行する路線バス及び広陵元気号の運行に係る利用者ニーズや課題等を洗い出し、自家用有償旅客運送を導入する場合の現行の運行状況への影響や担い手となる場合実施可能条件等を確認するためヒアリングを実施。ヒアリング結果は「広陵町地域公共交通利便増進計画（案）」及び令和5年度に運行再編する広陵元気号の運行方針の基礎情報として活用している。</p>	<p>【実施内容】 ・交通事業者（3者）に以下の3点についてヒアリングを実施 （ヒアリング内容） ① 路線バス、広陵元気号等の運行に係る利用者ニーズや課題等の把握 ② 市町村有償運送を導入した場合の現行運行状況への影響等の把握、受容性等の確認 ③ 市町村有償運送の担い手となる場合の実施可能な条件、課題等の把握</p>	
<p>●MaaSを活用した新モビリティ導入検討に係るサウンディングの実施 当町で進めるファンリティマネジメントの推進に伴い、運行の効率化、資源の適正配分及び多様化する住民ニーズに的確に対応していくため、令和3年度に策定した「広陵町地域公共交通計画」に基づき、自家用有償旅客運送導入に向け、次世代交通システムであるMaaSの考え方を取り入れ、AI予約システム等を活用した、新たな交通ネットワークを検討するため実施した。</p>	<p>【実施内容】 ・サウンディング型市場調査を実施（9者） ・10項目に分けて、MaaS導入に向けた検討内容を整理 （整理した10項目） ①当町にフィットしたMaaSの取組展開について ②イニシャルコストのあり方及び削減の方策 ③維持管理コストの最小化の方策 ④提案内容に基づく概算費用について ⑤A I 予約システム等の概要及び運用方法について ⑥既にA I 予約システム等を導入している自治体等における運用面での課題（利用者・運行受託者・自治体等） ⑦付加価値として提案可能な業務について ⑧契約締結までのスケジュール、業務期間及び履行体制の考え方 ⑨公募時に開示して欲しい資料等について ⑩事業を受託するに当たり、現段階で当町に要望する事項等について</p>	
<p>●「広陵元気号」標語募集の実施 「広陵元気号」が地域の公共交通であることを子どもたちに伝えるとともに、その保護者にも広陵元気号の周知を行った。</p>	<p>【実施内容】 町内小学校5校在学の児童（6年生 ※広陵北小学校のみ5年生）から、「広陵元気号」の標語を募集 【応募標語数】 5校合計：337標語（対象児童の100%が提出） 各小学校で最優秀標語1点を選定した。 最優秀標語は、バスの乗り方教室参加記念品（ものさし）に印字した。</p>	
<p>●広陵元気号利用ポイント制度の実施 町内の商業施設と連携し、無関心層の取り込みを行った。 【実施内容】 「広陵元気号」の利用でポイントが貯まり、20ポイントで協賛店舗の指定商品と交換できるカードの配布（平成29年11月から継続中） ※現在の協賛店舗は「イズミヤ広陵店」「エコー・マミ」「エバグリーン広陵店」「コープなんごう」「スギ薬局」の5店舗</p>	<p>【ポイント協賛店舗】 5店舗（令和4年度から「スギ薬局」を新たに追加） 【ポイントカード回収枚数】 イズミヤ：149枚 エコー・マミ：256枚 エバグリーン：218枚 コープなんごう：6枚 スギ薬局：6枚 合計：635枚（令和3年度 643枚）</p>	
<p>●広陵元気塾との政策間連携 毎月開催されている広陵元気塾と政策間連携を行い、健康関心層に対して、広陵元気号の周知及び無料乗車券を配布し、利用促進につながる取組を行った。</p>	<p>【元気塾参加者数】 年間：1,096人（令和3年度はコロナウイルス感染症対策による小規模開催のため参加せず） 【無料乗車券回収枚数】 年間：441枚（令和3年度 1,284枚(広報紙に挟み込み)）</p>	
<p>●バスの乗り方教室の実施 小学6年生（広陵北小学校のみ5年生）を対象に公共交通機関の一つであるバスについての知識を深め、公共交通のあり方を伝える講座を開催し、バスの利用促進を図った。</p>	<p>【実施内容】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、クラス単位で実施するなど工夫した上で、例年実施しているバスの基礎知識、乗車方法、交通安全に関するバスの乗り方教室を実施した。</p>	

利用者推移



月別利用者数比較表(3路線合計)



月別収入比較表

